

平成27年度 決算

収支

平成27年度大木町一般会計歳入歳出決算での実質収支は1億8652万円の黒字

町税の収入状況

収入未済額 4700万1千円
不納欠損額 127万円

町債(借金)・基金(貯金)の状況

町債の残高約51億6733万円
基金の残高37億4699万4千円

平成27年度大木町一般会計の主な事業

ふるさと納税拡充事業

(寄付額 1643万円)

合併浄化槽設置事業費

4805万円

活力ある高収益型園芸産地育成事業

3633万円

多面的機能支払交付金事業

3051万円

総合戦略策定事業

849万円

平成27年度大木町特別会計・水道事業会計決算状況

全員賛成で認定

国民健康保険……………(歳入)	20億2370万円	(歳出)	20億3775万円
後期高齢者医療……………(歳入)	1億4894万円	(歳出)	1億4336万円
水道事業会計……………(収益的収入)	2億3031万円	(収益的支出)	1億9115万円
(資本的収入)	8886万円	(資本的支出)	1億3397万円

平成27年度

大木町一般会計及び特別会計

(国保、後期、水道)歳入歳出決算

並びに基金の運用状況審査意見書

各会計決算、基金及び付属書は、関係法令に準拠してよく整理作成され、係数は正確で内容も適正である。

特別会計の国保・後期高齢事業は、高齢化社会の進行、医療費の上昇など厳しい財政状況で、後期高齢事業は実質収支において黒字決算だが、国保会計は今まで以上に厳しい運営状況。町民の健康保持対策と医療費低減対策に積極的に取り組み、支出抑制に向けた努力をお願いする。水道事業会計は、生活に密着した事業で、需要者へのサービスを第一に、経営の効率化、経済性の追及に努められ黒字決算をなし得た。今後とも公営企業の使命を追及し一層の努力をお願いする。

少子高齢化の進展や厳しい社会経済情勢の中で、豊かで暮らしやすい大木町の実現のため、将来世代への過大な負担を残さないよう、費用対効果の観点から検討と改善を加え、二層の健全な財政運営と重要な施策・課題に積極的に取り組み、各課の連携を図り適切に対処され、町民と行政との協働のまちづくりを推進し、更なる住民福祉の増進に努められるよう切望する。

代表監査委員 川村 和正
議選監査委員 中島 和正